

## 事業評価書

補助事業名	松島飛行場関連公共施設(教育文化施設:東松島市学校ICT教育環境整備事業)整備事業						
補助事業者名	東松島市長 渥美 巖						
実施場所	宮城県東松島市赤井字川前一107番地 外						
補助事業の成果の目標	平成27年度に簡易公募型プロポーザルにて実施した「平成27年度 東松島市立宮野森小学校ICT環境整備調査設計業務」の成果物を基に市内小中学校のICT環境の整備を進めることとし、順次ネットワーク基盤整備を実施している。当事業において、ネットワーク基盤を活用し、ICT機器を新たに整備、またPC教室備品を更新することにより、学習環境の充実を図るとともに学習意欲の向上を目標とする。						
補助事業の内容	学校ICT教育環境整備事業に係るタブレットパソコン420台、プリンタ8台、NAS8台、電子黒板機能付プロジェクタ77台、書画カメラ34台等 (うち令和2年度:タブレットパソコン226台、プリンタ5台、NAS5台、電子黒板機能付プロジェクタ29台、書画カメラ12台)						
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和2年度まで						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度				計
	事業費	円 80,300,000	円 101,200,000				円 181,500,000
	交付金額	79,000,000	99,100,000				178,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当該事業の実施により、ICT機器を新たに整備、またPC教室備品を更新することにより、学習環境の向上が図られた。また、導入後における学習環境の広がりや児童の情報教育に対する取り組み姿勢の変化等について、アンケート調査を行った結果、9割を超える児童生徒からICT機器等を使用した学習について「楽しい」、「わかりやすい」等の高評価を得るとともに、意欲的に取り組んでいることが分かった。また、教員へのアンケート調査からも、「子どもたちが内容をよりイメージしやすくなり、学習に対する意欲や興味関心が向上していると感じる」、「ICTの活用により授業に積極的に取り組んでいる様子が見られる」等、今後の学習環境の広がりが期待できる意見があり、事業目標を達成できたものと評価できる。</p> <p>また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で整備したことを、市のホームページ及び市報に掲載し、市民に対し広く周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今回購入した機器を適切に管理し学習環境の整備を図ることで、円滑な情報教育を推進する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	松島飛行場関連特定事業(防災に関する事業:東松島市地域防災維持運営事業)												
補助事業者名	東松島市長 渥美 巖												
実施場所	宮城県東松島市内												
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、市の復興まちづくり計画に基づく災害に強いまちづくりを実現するため、地域防災に係る維持管理についての事業を行うものである。</p> <p>内容については、平成25年に整備した衛星携帯電話(矢本地区、鳴瀬地区、宮戸地区)の維持管理及び非常用食糧、飲料水、粉ミルク等の防災備蓄用品(市内小中学校等25箇所に配備)の更新に係る費用に基金を充当するものである。</p> <p>これらの事業は、東日本大震災の経験を踏まえ、地域防災力の体制の確立を図るとともに、災害時も通話可能な衛星携帯電話の維持運営及び防災備蓄用品の計画的な更新整備を行うことで、災害対応力の向上を図り、地域住民の生活環境の向上に寄与するものである。</p>												
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星携帯電話3台(矢本地区、鳴瀬地区、宮戸地区)の維持管理(基本料、通話料等を支出)</li> <li>非常用食糧、飲料水、粉ミルク等の防災備蓄用品(市内小中学校等25箇所に配備)の更新整備(購入費を支出)</li> </ul>												
補助事業の始期及び終期	平成24年度～令和4年度												
事業費及び交付金額		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降	計	
	事業費	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
		0	185,328	321,565	581,544	1,239,712	17,731,947	20,307,084	19,166,454	20,756,694	31,751,325	112,041,653	
	基金造成額	交付金額	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000	0	20,000,000	20,000,000	20,000,000	22,000,000	0	112,000,000
		市町村費											0
		その他											0
		運用益	0	2,499	4,954	12,079	8,980	3,812	3,005	3,164	1,737	1,417	41,647
	合計	10,000,000	10,002,499	4,954	10,012,079	8,980	20,003,812	20,003,005	20,003,164	22,001,737	1,417	112,041,647	
基金処分額	0	185,328	321,565	581,544	1,239,712	17,731,947	20,307,084	19,166,454	20,756,688	31,751,325	112,041,647		
基金残高	10,000,000	19,817,171	19,500,560	28,931,095	27,700,363	29,972,228	29,668,149	30,504,859	31,749,908	0	-		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果及び評価】</p> <p>衛星携帯電話については、災害等の発生による使用はなかったものの、防災訓練(通信訓練)等により、災害時における通信手段としての有用性(情報伝達の確実性等)の確認を実施しつつ、災害時に使用できる態勢を維持した。</p> <p>防災備蓄用品については、市の地域防災計画に基づく市防災備蓄計画の必要数量のうち、令和2年度の更新整備により消毒液を除く他の品目については充足率100%を維持することができた。消毒液については、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止を鑑み、今後の更新で充足率を高めていく。(消毒液の充足率84.7%)</p> <p>また、市単独費で維持管理業務を委託し、通年による維持管理態勢を構築しており、毎月の管理報告や随時連絡等により適切な備蓄用品の数量、品質、保管状況となっている旨を確認したので、目標である災害対応力の向上が達成されたと評価する。</p> <p>【周知の実施状況】</p> <p>特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で整備したことを、市広報誌、ホームページに掲載することにより、地域住民への周知を行った。</p>												
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、衛星携帯電話の維持管理及び防災備蓄用品(非常用食糧、飲料水、粉ミルク等)の計画的な更新整備を行い、災害対応力の向上を図る。												
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし												

## 事業評価書

補助事業名	松島飛行場関連特定事業（医療に関する事業：東松島市子ども医療費助成事業）							
補助事業者	東松島市長 渥美 巖							
実施場所	東松島市内							
補助事業の成果の目標	本事業は、7歳（小学1年生）～15歳（中学3年生）までの児童・生徒に対して、医療費の自己負担分を助成し、子育て世代の経済的負担を軽減することで、子どもの適正な医療機会の確保及び子どもの福祉の向上を図ることを目標とし、実施するものである。							
補助事業の内容	7歳（小学1年生）～15歳（中学3年生）までの児童・生徒における医療費の自己負担分に係る費用を助成							
補助事業の始期及び終期	平成23年度から令和12年度まで							
事業費及び交付金額		平成23年度 ～29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 以降予定	計	
		円	円	円	円	円	円	
	事業費	655,713,537	116,957,689	91,880,437	76,498,407	900,000,000	1,841,050,070	
	基金造成額	交付金額	691,597,000	90,000,000	80,000,000	80,000,000	735,435,000	1,677,032,000
		市町村費	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		運用益	299,431	25,417	25,490	23,924	41,292	415,554
		合計	691,896,431	90,025,417	80,025,490	80,023,924	735,476,292	1,677,447,554
	基金処分額	522,448,000	90,000,000	90,000,000	75,000,000	899,999,554	1,677,447,554	
	基金残高	169,448,431	169,473,848	159,499,338	164,523,262	—	—	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	令和2年度において、対象となる児童・生徒3,126人（令和3年1月1日現在）に対し、34,601件の医療費助成を実施し、対象者一人あたりの受診回数は約11回、一回あたりの助成額は平均約2,210円であった。また、期間内に最大で1回に147,459円の医療費を助成した者もあり、子育て世代の経済的負担を軽減でき、子どもの適正な医療機会の確保及び子どもの福祉の向上が図られたと評価できる。周知については医療受給者証下段に「この制度は特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しています。」と印字を行った。今後令和3年7月発行の「市報ひがしまつしま」及び市ホームページに掲載し、別途1年以内に報告する。							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもの適正な医療機会の確保及び子どもの福祉の向上を図るため事業を継続的に実施していく。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し							